PETER DAVID BETER・音声書簡 第10号

1976年3月19日

テーマ1・世界政府と家庭生活

1 Beterはユートピアの世界秩序のイメージと、家庭に届くコントロールとを対比する。



2 彼は離婚、出生率の低下、隔離を家族のストレスの兆候として指している。



3 彼はセサミストリートを攻撃し、隠れた社会的条件を主張します。裏付けは得られていない。



4 親は学校の教科書に抗議し、教育で声を上げた。



5 議会は、S.626とH.R.2966を子供および家族サービスとして検討している。



6 ベターはニクソンが1971年に拒否権を行使したコミュニティ中心の子育てに関する警告を思い出す。



7 彼は法案の親の広い定義を、日々の第一責任の人として強調している。



8 彼はこの政策を1904年の一般教育委員会の文書と結びつけている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第10号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第10号

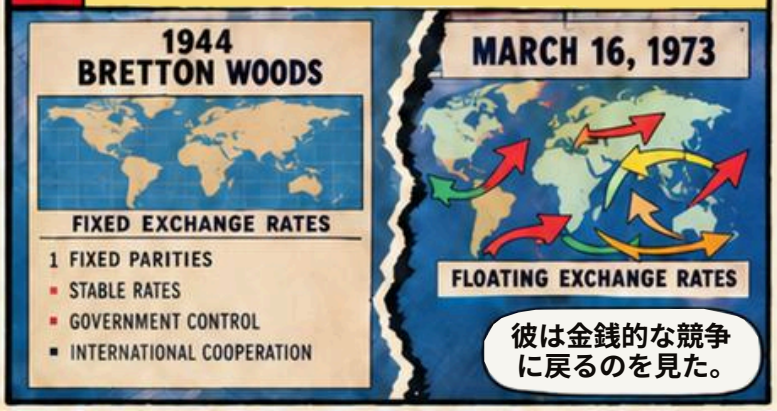
1976年3月19日

テーマ2 通貨混乱と今後のクラッシュ

1 通貨トレーダーが緊張した市場を見ている間、スターリングは2ドルを下回っています。



2 ベターは、1973年の為替レートの変動が通貨不安定性の再燃を招いたと非難している。



3 南アフリカの金とウランをめぐる紛争を予測している。



4 彼は1000ドルという数字と、未確認失業率の推計とを対比している。



5 キッシンジャーのラテンアメリカ旅行はロックフェラーの利益の負債収集として描かれている。



6 ベターは、アラブの撤退が分数準備銀行を通じて倍増する可能性があると予測したが、彼のシナリオは独立して確認されていない。



7 パットマンの連邦準備制度は調査と死亡を記しているが、両者に関連のある証拠はない。



8 ある市民は、コンラン氏の回答を読み、なぜ公的な調査は行われなかったのかと問うた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第10号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第10号

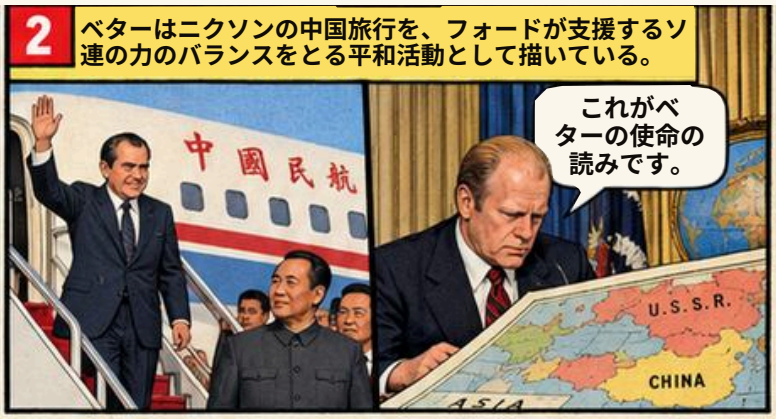
1976年3月19日

テーマ3 戦争と国家非常事態

1 ネルソン・ロックフェラー氏は、CBS記者に、大統領の長い野望について答えています。



2 ベターはニクソンの中国旅行を、フォードが支援するソ連の力のバランスをとる平和活動として描いている。



3 戦略委員会はライバルの政治陣を映し出す。これはベター氏のコンテストの記録である。



4 ハロルド・ウィルソンの辞任を戦争計画に関する知識と結びつけているが、この繋がりは独立して確認されていない。



5 大統領令11490は、Beterの非常電源警告の焦点となります。



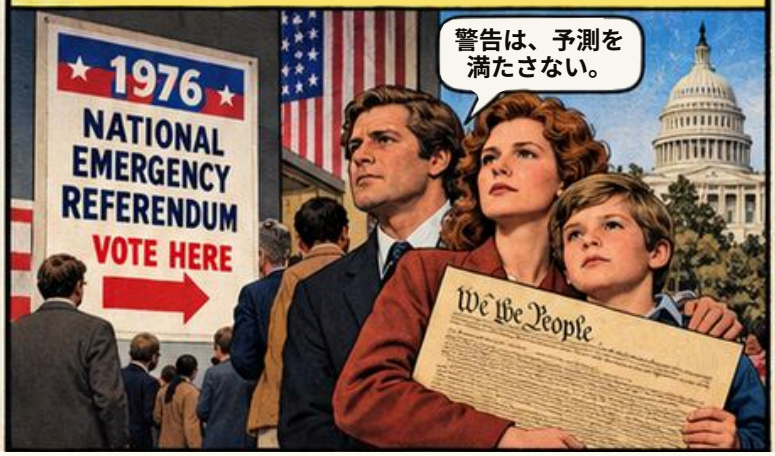
6 彼はこの命令を、連邦政府による産業、輸送、通信の広範な管理を可能にすると読んでいる。



7 さらに、収容所と技術不足を主張する。独立した証明は示されていない。



8 選挙は非常事態住民投票によって置き換えられ、憲法政府の防衛を要請できると推測している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第10号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。